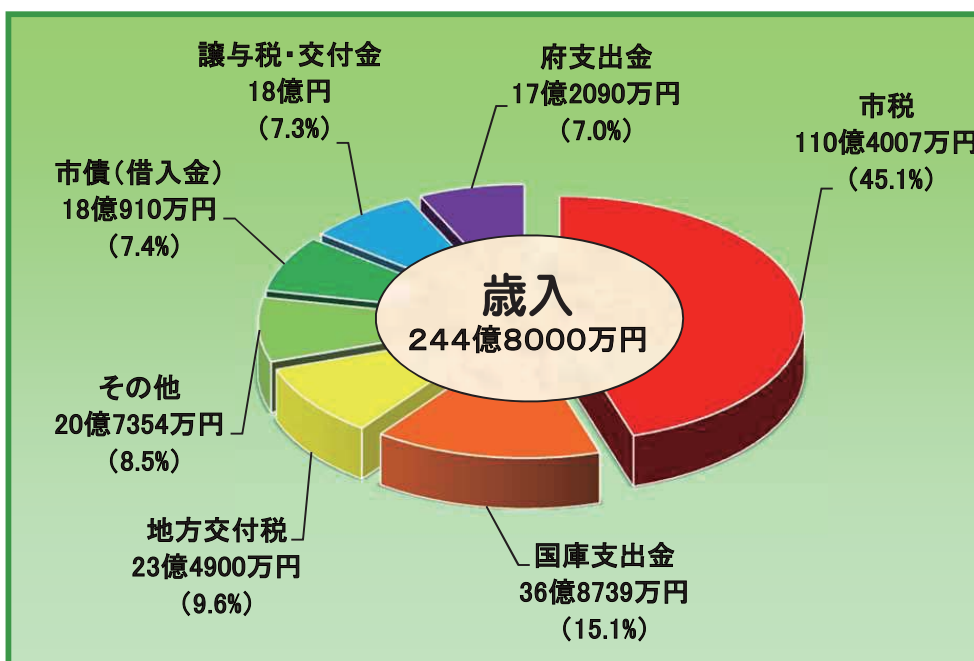


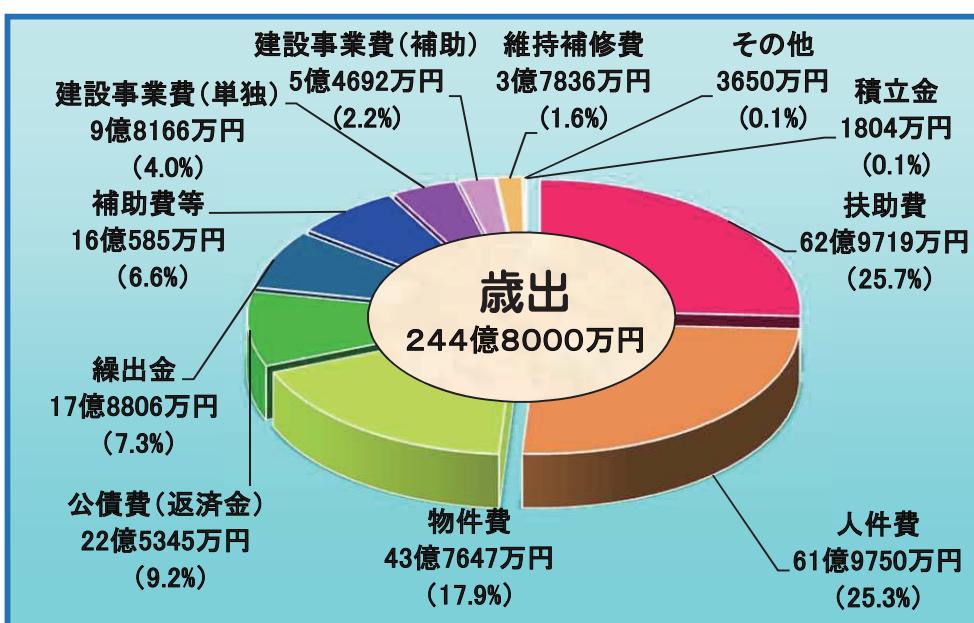
厳しい財政状況の中、くらしの安全・安心の実現へ 平成31年度・当初予算の概要

歳入	
市税	市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税などの市が徴収した税
国庫支出金	国から市に支出される資金のうち、その用途が特定されているもの
地方交付税	所得税・法人税・酒税などの国が徴収した税から財政力に応じて市に配分されるもの
その他	過去の積立基金からの繰入金や、財産収入・使用料および手数料など
市債	市が歳入の不足を補うために発行する債券で、会計年度を超えて債務を返済するもの
譲与税・交付金	消費税・自動車重量税・自動車取得税などの国が徴収した税から市に交付されるもの
府支出金	府から市に交付されるもの



骨格的予算の『一般会計』の中身
歳入…企業誘致で税収増額
歳出…未来に花咲く使い道を

歳出	
人件費	給料や手当などの経費
扶助費	社会保障制度の一環として、生活保護、児童福祉、高齢者福祉など国の法律に基づいて支給するもの、また市が独自の施策で住民福祉の増進を図るため支給するもの
物件費	委託料、賃金、旅費、役員費など消費的性質の経費
公債費	債務の返済金
繰出金	特別会計へ支出されるもの
補助費等	講師謝金、保険料、負担金、補助金、交付金など、行政上の目的で他の団体や民間に交付される現金的給付に係る経費
建設事業費	道路、橋りょう、学校など公共施設の新増設に係る経費で、国などの補助を受けるものが(補助)、市の単独で行うものが(単独)
維持補修費	市が管理する公共施設の維持に要する経費
その他	その他の経費
積立金	一般家庭での普通預金的なもので、剰余金などを貯蓄して必要な時に充当するもの



国民健康保険特別会計
広域化で府への納付金に見合う保険料が必要になり、税率を4年で20%引き上げる計画のうち、1年で5%引き上げる条例改正を提案しているが、税率を上げるしかないのか。

国民健康保険・後期高齢者医療特別会計の今後は

後期高齢者医療特別会計
平成31年度当初予算の健康診査費用が増額になっているが、受診者が増える見込みなのか。

歯科検診を31年度予算に計上するよう検討できないか。

国民健康保険・後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計の31年度当初予算案を賛成多数で可決し、その他7件の予算案を賛成全員で可決しました。

健康で長生きしていただくため、続けてほしい。国は補助を減らす方向だが、市は続けるのか。

31年度の財源状況を見て広域連合で検討される。現段階では、疾病の早期発見のため人間ドックを続ける。

会計別	年度比較	平成31年度	前年度からの増減	増減率(%)
一般会計		244億8000万円	2億9300万円	1.2
特別会計		115億6110万円	2020万円	0.2
内訳	休日応急診療所	2550万円	240万円	10.4
	松井財産区	930万円	-1270万円	-57.7
	国民健康保険	64億3260万円	-3950万円	-0.6
	介護保険	41億6200万円	4230万円	1.0
	後期高齢者医療	9億3170万円	2770万円	3.1
水道事業会計		31億860万円	2億9020万円	10.3
公共下水道事業会計		30億6580万円	490万円	0.2
農業集落排水事業会計		1億2860万円	-890万円	-6.5
合計		423億4410万円	5億9940万円	1.4

予算特別委員会の審査報告

予算特別委員会(市田博委員長、河田美穂副委員長、青木綱次郎、喜多和彦、小林喜代司、増富理津子、松村博司の各委員7名)は、3月11日、12日、13日、18日、27日の5日間にかけて委員会を開催し、定例会初日に付託された平成31年度一般会計当初予算案、14件の予算案について審査を行いました。

審査は部局別に3日間行い、4日目には4会派から総括審査・採決、5日目には、議案訂正の申し出により審査・採決を行いました。

採決では、30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)と、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計の31年度当初予算案を賛成多数で可決し、その他7件の予算案を賛成全員